

# 令和6年度第1回明石市文化財保存活用協議会次第

日時：2024年（令和6年）5月21日（火）

午前10時00～12時00分

場所：明石市役所 議会棟 第3委員会室

## 1 開 会

## 2 報 告

明石市文化財保存活用地域計画に基づく2023年度の実績及び2024年度の予定について

（1）全市的な取組について

（2）重点区域における取組について

## 3 その他

## 4 閉 会

## 協議会委員名簿

|        |       |                      |
|--------|-------|----------------------|
| 会長     | 村上 裕道 | 京都橘大学教授・文化財保全学       |
| 副会長    | 森本 眞一 | 神戸学院大学非常勤講師・地理学      |
| 委員     | 竹内 利江 | 神戸学院大学非常勤講師・地域学/観光学  |
| 委員     | 西海 英延 | 文化財所有者 住吉神社宮司        |
| 委員     | 藤本 庸文 | 明石市連合まちづくり協議会会長      |
| 委員     | 柏原 正民 | 兵庫県教育委員会文化財課長        |
| 委員     | 中塚 雅明 | 明石商工会議所事務局長          |
| 委員     | 合田 和央 | 明石観光協会専務理事           |
| オブザーバー | 山下 史朗 | 兵庫県企画部地域振興課歴史資源活用専門官 |

## 事務局

|        |       |                       |
|--------|-------|-----------------------|
| 市民生活局  | 箕作 美幸 | 市民生活局長                |
|        | 中田 章雄 | 文化・スポーツ室長             |
|        | 池田 一峰 | 歴史文化財担当課長             |
|        | 田川 聡司 | 歴史文化財担当係長             |
|        | 原口 聡  | 歴史文化財担当主任             |
|        | 稲原 昭嘉 | 歴史文化財担当再任用職員          |
| 明石観光協会 | 木村 公輔 | 事務局次長                 |
| 政策局    | 秋末 稔  | 広報プロモーション室長兼シティセールス課長 |
| 都市局    | 西田 考樹 | 都市整備室調整担当課長           |
| 教育委員会  | 和田 徳幸 | 学校教育課長                |

文化財保存活用地域計画に基づく2023年度の実績及び2024年度の予定

| 番号                             | 事業名                   | 事業内容                                                                                                       | 指標          | 目標値<br>(2025年) | 開始年    | 2023年度の実績                                                       | 2024年度の予定                                                           |
|--------------------------------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------|--------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 基本方針 1 歴史文化遺産を持続的に「知る」取り組みを進める |                       |                                                                                                            |             |                |        |                                                                 |                                                                     |
| 1                              | 遺跡・武家屋敷跡の発掘調査         | 遺跡や武家屋敷跡の発掘調査、学術調査等を継続して進め、指定等文化財及び城下町などの価値の解明を進める                                                         | 調査件数        | 年1件            | 2022年度 | 29件                                                             | 30件                                                                 |
| 2                              | 市史の編さんに関する調査          | 市史の編さんに関わる調査を継続し、その成果を紀要等で定期的に発信する                                                                         | 市史編さん冊子の刊行  | 年1冊            | 2022年度 | 1冊「明石の燐寸」                                                       | 2冊「明石市史」第1巻、「明石の歴史」第7号                                              |
| 3                              | 生業に関する調査              | 明石の特性となっている生業調査(造船所等を含む)を市民や団体が中心になって計画的に進め、成果を公表する                                                        | 調査実施数       | 年1件            | 2022年度 | 1件「明石の瓦」展                                                       | 1件「タコツボ」展                                                           |
| 4                              | 生活文化に関する調査            | 無形民俗文化財などの身近な生活文化に関わる歴史文化遺産の掘り起こしなどについて、テーマを設定して計画的に調査を進める                                                 | 調査実施数       | 年1件            | 2022年度 | 1件 布団太鼓の調査                                                      | 1件 布団太鼓の調査                                                          |
| 5                              | 食文化の把握調査・魅力発信         | 明石の食文化の魅力について文献調査などでその価値を把握すると共に、多様な媒体で情報発信を行う                                                             | 調査実施数       | 期間中1件          | 2024年度 | 1件 明石焼(玉子焼)調査                                                   | 1件 明石焼(玉子焼)調査                                                       |
| 6                              | 建造物に関する調査             | 近代の歴史文化の魅力を構成している建造物調査を市民・団体等が中心に進め、成果を公表する                                                                | 調査実施数       | 年1件            | 2024年度 | 1件 材木町の安藤家                                                      | 1件 材木町の安藤家                                                          |
| 7                              | 近代化遺産調査               | 近代化遺産を対象として市民や団体が中心となって計画的に取り組みを進め、成果を公表する                                                                 | 調査実施数       | 年1件            | 2024年度 | 3件 燐寸の調査、明石旧船町の家の調査、生船の調査                                       | 3件 発動機の調査、明石旧船町の家の調査、生船の調査                                          |
| 8                              | 文化的景観調査               | 西国街道沿いや林崎漁港周辺などを対象に、市民や団体が中心となって文化的景観調査を進め、成果を公表する                                                         | 調査実施数       | 期間中1件          | 2024年度 |                                                                 | 清水西・福里地区の調査                                                         |
| 9                              | 史料調査                  | 蔵などで保管されている史料が散逸しないよう、計画的に調査を実施して史料整理を進め、成果を公表する                                                           | 調査実施数       | 期間中1件          | 2024年度 | 1件 大久保安藤家資料調査                                                   | 1件 大久保安藤家資料調査                                                       |
| 基本方針2 学校教育・生涯教育の場で人づくりを進める     |                       |                                                                                                            |             |                |        |                                                                 |                                                                     |
| 10                             | 学習発表会の開催等の生涯学習機会の充実   | 市民が歴史文化に触れることができるよう、幅広く生涯学習機会を充実させると共に、市史編さん等による最新の情報を市民に提供する。また、図書館等との連携による市内高校の歴史関係のクラブ活動を含め、学習発表会等を開催する | 生涯学習の場の設定   | 継続             | 2022年度 | 明石しごせんロマン塾「柿本人麻呂と明石」(大蔵コミセンほか)                                  | 出前講座(コミセン、自治会等を予定)                                                  |
| 11                             | 歴史文化コーディネーターの育成       | 小・中学校における体験授業の企画・運営・指導を担うコーディネーターを地域人材として育成する                                                              | 育成コーディネーター数 | 期間中6人          | 2023年度 | くらしのうつりかわり展 ボランティア育成34人、発掘された歴史展 ボランティア育成20人、文化博物館解説ボランティア育成10人 | くらしのうつりかわり展 ボランティア育成34人、発掘された歴史展 ボランティア育成20人、文化博物館解説ボランティア育成9人      |
| 12                             | 学校への出前授業の拡充           | 地域人材による出前授業の拡充により子どもたちに地域の歴史文化を学ぶ機会を提供する                                                                   | 出前事業実施数     | 年間5校           | 2023年度 | 学校への出前授業 5回                                                     | 学校への出前授業 5回                                                         |
| 13                             | 副読本・歴史文化遺産マップの開発      | 小・中学校等におけるふるさと学習の副読本や歴史文化遺産マップの開発を推進する                                                                     | 副読本・マップ開発   | 期間中作成          | 2023年度 | 「文化財ウォークマップ」の学校教員への配布                                           | 「文化財ウォークマップ」の学校教員への配布                                               |
| 14                             | 教材開発者・指導者の研修会の開催      | 教材開発や指導に関わる市民・教員等を対象とした研修会開催により継続学習機会を提供する                                                                 | 研修会開催数      | 年1回            | 2023年度 | 教員等を対象とした研修会 7回                                                 | 教員等を対象とした研修会 7回                                                     |
| 15                             | 新設文化財収蔵庫の活用           | 新設する文化財収蔵庫では、文化財保存の実習場としても活用し、出土遺物の洗浄や復元作業の補助を担うボランティア人材の育成の場とする                                           | 研修会開催数      | 年1回            | 2023年度 |                                                                 | 出土遺物の洗浄体験の実施                                                        |
| 基本方針3 歴史文化遺産を確実に次世代に継承する       |                       |                                                                                                            |             |                |        |                                                                 |                                                                     |
| 16                             | 文化財への指定等              | 文化財の指定拡充及び周辺地域の指定拡大、未指定文化財の指定・登録などに向け、価値を明らかにする調査を行う                                                       | 指定等件数       | 年2件            | 2022年度 | 市指定2件 稲爪神社太鼓、赤根川金ヶ崎窯跡出土角杯形土器等須恵器一括                              | 県指定2件 赤根川金ヶ崎窯跡出土角杯形土器等須恵器一括、中崎公会堂 県登録1件 兵庫県立明石高等学校中部講堂 市指定1件 延命寺の仏像 |
| 17                             | 指定等文化財の環境整備           | 指定等文化財の見学ルート確保や解説板の設置を含め文化財及び周辺環境整備を進める                                                                    | 環境整備件数      | 年1件            | 2022年度 | 1件「文化財ウォークマップ」の作成                                               | 1件「文化財ウォークマップ」の作成                                                   |
| 18                             | 史跡明石城跡保存活用整備          | 史跡明石城跡の保存の拡充、価値の理解を助ける解説板の設置等文化財整備事業を兵庫県と協働して進める                                                           | 保存活用整備事業    | 期間中3件          | 2022年度 |                                                                 |                                                                     |
| 19                             | 旧波門崎燈籠堂(石積)の環境整備      | 旧波門崎燈籠堂(石積)の市指定と併せて、燈籠堂の保全措置及び環境整備等を県港湾部局と協働して計画的に進める                                                      | 環境整備        | 期間中一部完了        | 2022年度 | 市指定後、木製燈籠部復元、看板設置完了(2022年度)                                     |                                                                     |
| 20                             | 船上城跡の環境整備             | 船上城本丸跡と推定されている高台の保存や見学ルート等の環境整備を進める                                                                        |             |                | 2027年度 |                                                                 |                                                                     |
| 21                             | 景観上の重要建造物等の保存         | 歴史的な景観を残す城下町の商家、近代洋館建築の安藤家、瓦生産業を示す煙突、路傍に残る五輪塔等を法的な枠組を活用して保存すると共に、「重建」等の重要建造物等の修理・修復を進める                    |             |                | 2027年度 |                                                                 |                                                                     |
| 22                             | 漁港まちなみ関連建造物の保存        | 漁港のまちなみの面影を残す建造物について各種法的な枠組を活用して保存の措置を進める                                                                  |             |                | 2027年度 |                                                                 |                                                                     |
| 23                             | 歴史文化遺産管理活動への助成        | 無住の神社や所有者不明の歴史文化遺産管理を市民協働で進めるため、管理活動への助成制度などの仕組みづくりを検討する                                                   |             |                | 2027年度 |                                                                 |                                                                     |
| 24                             | 布団太鼓の公開の場の設定          | 布団太鼓の調査を継続すると共に公民館等で一堂に鑑賞できる場の設定、「(仮称)布団太鼓サミット」の開催による内外地域の交流など、市民にその魅力を発信し、さらには、未公開の布団太鼓の公開を促進する           |             |                | 2027年度 |                                                                 | 企画展 布団太鼓                                                            |
| 25                             | 財源確保・支援               | クラウドファンディングやふるさと納税等の仕組みを利用して、財源を確保することにより、祭礼に関わる布団太鼓や道具類のほか、建造物等の修理・修復の支援に取り組む                             | 修理等支援数      | 年2件            | 2022年度 | 布団太鼓等用具等の修繕等13件、亀の碑修復                                           | 布団太鼓用具等の修繕等12件                                                      |
| 26                             | 歴史文化遺産データベースの作成・更新・共有 | データベースの作成、定期的更新と共に庁内関係部局などと共有し、市民の歴史文化への認識の醸成、観光等の促進に活用する                                                  | データベース更新    | 年1回            | 2022年度 |                                                                 | 指定文化財の市ホームページでの紹介                                                   |

| 番号                                    | 事業名                     | 事業内容                                                                                                           | 指標           | 目標値<br>(2025年) | 開始年    | 2023年度の実績                                           | 2024年度の予定               |
|---------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------------|--------|-----------------------------------------------------|-------------------------|
| 基本方針 4 歴史文化を活かした愛着のもてるまちづくりを推進する      |                         |                                                                                                                |              |                |        |                                                     |                         |
| 基本方針 4－1 歴史文化遺産観光に関わる多様な取り組みを重点的に展開する |                         |                                                                                                                |              |                |        |                                                     |                         |
| 27                                    | 国際交流・地域間・広域交流           | 姉妹都市等との国際交流、地域間観光交流、淡路島等との広域交流を推進し、魅力を発信する                                                                     | 連携事業数        | 年1件            | 2022年度 | 1件 無錫市 4人                                           | 1件 無錫市 4人               |
| 28                                    | 歴史文化遺産観光のコンテンツ拡充        | 市や明石市立文化博物館のホームページ等で歴史文化遺産観光情報を継続して発信すると共に、「歴史のまち明石」としての魅力を十分に伝えるよう、ホームページのコンテンツの充実や明石ケーブルテレビ番組などのコンテンツの充実を進める | コンテンツの拡充     | 期間中2回          | 2022年度 | 明石ケーブルテレビ 御厨神社弁財船、岩屋神社おしゃたか舟神事等                     | 明石ケーブルテレビによる無形民俗文化財等の紹介 |
| 29                                    | 明石公園のガイダンス機能の拡充         | 多くの観光客が来訪する明石公園内に本市の歴史文化遺産のガイダンス機能を拡充すると共に、明石城跡に関する展示の場の確保、解説板整備などの魅力発信方策を拡充する                                 |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 30                                    | 南北・東西の歴史文化遺産のネットワーク化    | 歴史文化遺産の南北観光交流軸、東西周遊ルートの設定など、歴史文化遺産のネットワーク化を進めるため歴史文化遺産間の関連性を明示する冊子作成、明石駅前における市内の歴史遺産案内板でのネットワーク表記などを進める        |              |                | 2027年度 | 観光案内所での文化財マップの配布                                    | 観光案内所での文化財マップの配布        |
| 31                                    | 歴史文化周遊観光の推進             | たこバス等の公共交通利用を含め東西周遊ルートの設定などを進めると共に、JR明石駅周辺に大型バス乗降場所設置を検討する                                                     |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 32                                    | 自転車利用の推進                | 歴史文化遺産周辺の駐車場整備や幅員の狭い道路での自転車利用の誘導などのハード、ソフトの環境整備を進める                                                            |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 33                                    | 先端技術活用による情報発信           | ドローンを用いた城下町の空撮などのデジタルコンテンツの拡充、AR、VR、ICTの活用などによる情報発信を進める                                                        |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 基本方針4－2 市民等と協働して歴史文化遺産が核となるまちづくりを進める  |                         |                                                                                                                |              |                |        |                                                     |                         |
| 34                                    | 明石市立文化博物館の拠点機能の拡充       | 博物館の拠点機能を拡充するため、明石城関連資料の常設展示、市史編さん作業を通じて収集した資料や研究成果などのコーナー展示、布団太鼓の総合的な情報発信、来訪者や子ども向けの講座の開催などを継続的に実施する          | 展示の拡充        | 期間中拡充          | 2022年度 | 明石城関連資料企画展示                                         | 企画展に関連する図書コーナーの設置       |
| 35                                    | 歴史文化遺産マップ・解説板作成         | 城の外堀、道標、駅家などの存在を明示するためマップ作成や解説板設置を実施する                                                                         | 解説板の設置       | 年2箇所           | 2022年度 | 7箇所 中崎遊園地ラヂオ塔、魚住城跡、光触寺、高丘古窯跡群、太山寺道 道標、大蔵谷本陣・脇本陣、長楽寺 | 2箇所 鰯口、岩屋神社             |
| 36                                    | 歴史文化シンポジウム等の連続開催        | 歴史文化に関わるシンポジウム等について、市内の歴史関係グループの発表も含め、継続的に実施し、市民が明石の歴史文化を学ぶ機会を提供すると共にわがまちへの誇りと愛着を醸成する取り組みを進める                  | シンポジウムなどの開催数 | 年1回            | 2022年度 | 7回 企画展にかかる講演会の実施                                    | 6回 企画展にかかる講演会の実施        |
| 37                                    | 歴史まち歩きの定期的開催            | 地域のまち歩きを定期的に開催し、歴史文化を核としたまちづくりのファンを増やしていく                                                                      | 歴史まち歩きの開催    | 年1回            | 2022年度 | 1回 文化財ウォークの実施                                       | 1回 文化財ウォークの実施           |
| 38                                    | 地域の生活・生業に関わる歴史文化遺産の活用   | 長屋門付農家、瓦工場の煙突、登り窯等地域の生活や生業に関わる建造物を活用することで歴史文化遺産を核としたまちづくりを進める                                                  |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 39                                    | 建造物等の公開                 | 登録文化財などが地域のまちづくりの核となるよう公開に向けた取り組みを進める                                                                          |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 40                                    | 多様な人が鑑賞できる文化財展示手法等の検討   | 手話通訳付きのオンライン配信など障がいを持った人でも歴史文化遺産に触れることができるような情報発信や展示手法等を検討する                                                   |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 基本方針 5 みんなで歴史文化のまちづくりを進める             |                         |                                                                                                                |              |                |        |                                                     |                         |
| 41                                    | 部局間連携による地域づくり           | 庁内部局間連携による都市景観形成重要建造物等活用など歴史文化遺産を核としたまちづくりを進める                                                                 | 連携事業数        | 年1件            | 2022年度 | 住宅局の空き家対策による材木町安藤家の修理                               |                         |
| 42                                    | 歴史文化遺産保存活用体制の構築         | 明石市文化財保存活用協議会により、歴史文化遺産の保存・活用を進める                                                                              | 協議会の開催       | 年1回以上          | 2022年度 | 1回 開催                                               | 1回 開催                   |
| 43                                    | 顕彰制度の確立                 | 歴史文化の保存活用に貢献した市民や団体を顕彰する制度を確立し、市民活動の幅を広げる                                                                      | 制度の確立        | 期間中確立          | 2024年度 |                                                     | 明石市の表彰制度によるボランティア団体の顕彰  |
| 44                                    | 市民相談窓口の設置               | 伝統的建造物等の保存や活用に取り組むことができるよう市民向けの各種相談を受ける窓口を設置する                                                                 |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 45                                    | 近隣自治体との連携               | 海の道・陸の道でつながる近隣自治体との連携体制を構築し、近隣自治体との協働によるイベントや海からの周遊観光ツアー等の実施を進める                                               |              |                | 2027年度 |                                                     |                         |
| 歴史文化遺産を災害などから守る仕組みづくりを進める             |                         |                                                                                                                |              |                |        |                                                     |                         |
| 46                                    | 地域防災計画への歴史文化遺産防災条項の追記   | 明石市地域防災計画に災害時の歴史文化遺産に関する防災条項を追記し、文化財防災への対応を図る                                                                  | 地域防災計画への条項追記 | 期間内完了          | 2022年度 | 地域防災計画に文化遺産に関する条項を追記                                | 実施済み                    |
| 47                                    | 防火訓練の実施                 | これまで進めてきた文化財防火デーの取り組みを継続するだけでなく、地域単位で訓練を実施する                                                                   | 訓練の実施        | 年1地区           | 2022年度 | 月照寺                                                 | 明石城                     |
| 48                                    | 歴史文化遺産防災・防犯対応マニュアル作成の検討 | 市民ならびに文化財所有者向けの防災・防犯対応マニュアルの作成を検討する                                                                            | マニュアル作成      | 期間内完了          | 2024年度 |                                                     | マニュアル作成開始               |
| 49                                    | 文化財パトロールの拡充             | 文化財防災デーの取り組みを継続すると共に、地域単位で市民による文化財パトロールを進める                                                                    | 地域単位のパトロール数  | 年1地区           | 2024年度 |                                                     | 消防団との連携によるパトロールの実施      |
| 50                                    | 防災設備の設置への支援             | 文化財所有者等が設置する防災設備への支援を行う                                                                                        | 防災設備支援       | 年2件            | 2024年度 |                                                     | 支援制度の周知                 |

## 2023 年度の重点区域における事業報告

### 重 1 重点区域に関する副読本の作成

4 月 昨年作成したウォーキングマップを中学校の研修に配布

### 重 2 明石市立文化博物館における歴史文化に関わる講座の開催

6 月 「柿本人麿と明石展」

冷泉為人先生、神道宗紀先生講演

9 月 「明石藩の世界展—明石藩の懷事情—」

加藤明恵先生講演

11 月 「発掘された明石の歴史展—明石の古窯とやきもの・瓦—」

春成秀爾先生、石田由紀子先生、高橋明裕先生、藤原学先生講演

### 重 3 ボランティアガイド等と共にめぐるまち歩きの開催

11 月 材木町安藤家から無量光寺までの文化財ウォーク

3 月 ウォーキングマップの作成

### 重 8 まちの歴史を知る銘板・サイン等の設置

5 月 中崎遊園地ラヂオ塔の看板設置

7 月 魚住城跡の看板設置

3 月 光触寺、高丘古窯跡群、太山寺道 道標、大蔵谷本陣・脇本陣、長楽寺の看板設置

### 重 10 明石歴史クリエイティブ事業の支援

9・10 月 あかし古民家まちづくりアカデミーイン材木町の開催支援

街並み地域マップの制作支援、生船の調査

### 重 12 織田家史料の展示・公開

6 月 明石市立文化博物館の企画展「柿本人麿と明石展」での資料展示

### 重 13 オンライン配信等による歴史文化の情報発信

6 月 明石市立文化博物館の企画展「柿本人麿と明石展」講演会を Youtube で発信

### 重 14 明石市文化財保存活用協議会重点区域部会の組織化

11 月 重点部会の開催（明石ヘリテージ、生船研究会、観光ボランティア、あかし市民図書館）

## 2024 年度の重点区域における事業計画

### 重 1 重点区域に関する副読本の作成

昨年作成したウォーキングマップを中学校の研修に配布予定

### 重 2 明石市立文化博物館における歴史文化に関わる講座の開催

6 月 「東二見 横河家の功績—大坂の陣から近代建築まで—」

9 月 「明石藩の世界展Ⅻ—藩主忠国が創った『源氏物語』遺跡と俳諧文学—」

10 月 「発掘された明石の歴史展—明石の寺院跡—」

12 月 「明石の布団太鼓Ⅱ—彫刻と刺繍に見る匠の技—」

### 重 3 ボランティアガイド等と共に巡るまち歩きの開催

ウォーキングマップの作成

### 重 4 大蔵谷街道筋の建築物・民俗文化財の保存・公開

稲爪神社太鼓の展示、穂蓼八幡神社布団太鼓の展示

### 重 8 まちの歴史を知る銘板・サイン等の設置

鰐口、岩屋神社の看板設置

### 重 10 明石歴史文化クリエイティブ事業の支援

空き家を活かした展示会、講座の開催、生船の調査

### 重 11 中崎公会堂の活用の推進

県指定文化財化

### 重 13 オンライン配信等による歴史文化の情報発信

明石市立文化博物館の企画展講演会を Youtube で発信予定

### 重 14 明石市文化財保存活用協議会重点区域部会の組織化

重点部会の開催

# 1F

## 明石旧船町の家 100年の歴史に満ちた 各部屋とイベントのご紹介



**和室ホール** 各種ワークショップや、明石型生船の模型・資料を展示。  
また、明石にまつわる貴重な歴史映像を終日上映します。



**中庭** 灯籠や生け簀などは当時のままに、  
歩行用の木造通路を増設した中庭。  
ぜひ写真撮影にご利用ください。



**こたつ部屋** 趣あふれる掘りこたつが特徴的な部屋。  
明石文化博物館と関西大学・高久ゼミ  
による展示を実施します。



**トイレ** 神戸芸工大の学生が海岸で集めた  
貝殻を、レジン(合成樹脂)でDIY加工。  
新たに生まれ変わったトイレは必見。



**台所** 明石蛸仙人「漁師のおにぎり(鯛めしと  
タコ飯のおにぎり2個セット)または金波  
巻きを550円(限定40セット)で販売!!



**1F洋室ホール** 明石市内の文化財・資源を活用し、まちづくりや文化に寄与する団体である  
「ヘリテージ明石」による展示を実施。明石の意外な歴史に触れることができます。  
また、18(土)19(日)23(木・祝)にはお子様向けのイベントも開催します。

## 明石旧船町の家MAP



## 11/18 土 19 日 23 木 25 土 26 日 5日間のスケジュール

| 18日(土)                                  |                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>E</b> 1F洋室ホール<br>10:00<br> <br>16:00 | ○アートマルシェ<br>・おもちゃボードゲームイベント「木のおもちゃ ころころ」(高田由美)※12時まで<br>・カードリーディング(高森里香)<br>・花数秘占(井上妙子)                                                     |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>11:30               | 講演「明石旧船町の家について」<br>担当MC 明石ヘリテージ/吉川会長、明石市/義根氏<br>内容 明石旧船町の家について、あかし文化財ウォークの一貫として説明する。                                                        |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>13:00               | ○スマイルウクレレ部 演奏会<br>ご披露は5曲 聞いていただくみな様も一緒に歌ってください。                                                                                             |
| 19日(日)                                  |                                                                                                                                             |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>10:00               | ○ふすま・障子の張替え体験                                                                                                                               |
| <b>F</b> 1F洋室ホール<br>10:00<br> <br>16:00 | ○アートマルシェ<br>・カードリーディング(高森里香)<br>・花数秘占(井上妙子)<br>・スマイルカラーワークショップ(堀川寛子)※所要時間30分 一作品300円                                                        |
| <b>G</b> 2F広間<br>10:00<br> <br>12:00    | ○神戸芸術工科大学Presents「まち研アートフェスタ」<br>・ランタン作りWS...障子紙を使ったランタン作り<br>・レジンキーホルダー作りWS...海岸で集めた貝殻を使ったキーホルダー作り<br>・ボードゲームWS...学生のオリジナルボードゲーム4種類 ※16時まで |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>14:00               | ワークショップ「まちづくりアカデミーin材木町を振り返って」<br>担当MC 神戸新聞社/鄭氏、KDUまちづくり研究会<br>内容 神戸芸工大の学生と地域の方で建物の具体的な利活用について話し合う。                                         |
| 23日(木・祝)                                |                                                                                                                                             |
| <b>F</b> 1F洋室ホール<br>10:00<br> <br>16:00 | ○アートマルシェ<br>・おもちゃボードゲームイベント「木のおもちゃ ころころ」(高田由美)<br>・カードリーディング(高森里香)<br>・花数秘占(井上妙子)                                                           |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>11:00               | ○スマイルウクレレ部 演奏会<br>ご披露は5曲 聞いていただくみな様も一緒に歌ってください。                                                                                             |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>14:00               | 講演「明石旧船町の家 ~文献を紐解く~」<br>担当MC 神戸新聞社/鄭氏、関西大学/高久ゼミ、明石市文化博物館<br>内容 明石旧船町に残っていた歴史的資料について調査結果を発表する。                                               |
| 25日(土)                                  |                                                                                                                                             |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>13:00               | 講演「明石ヘリテージ 明石旧船町のお話」<br>担当MC 明石ヘリテージ/吉川会長、明石型生船研究会/金井代表<br>内容 明石旧船町の地域についてお話いただく。古いレコードの鑑賞会も開催。                                             |
| 26日(日)                                  |                                                                                                                                             |
| <b>G</b> 2F広間<br>10:00<br> <br>12:00    | ○神戸芸術工科大学Presents「まち研アートフェスタ」<br>・ランタン作りWS...障子紙を使ったランタン作り<br>・レジンキーホルダー作りWS...海岸で集めた貝殻を使ったキーホルダー作り<br>・ボードゲームWS...学生のオリジナルボードゲーム4種類 ※16時まで |
| <b>A</b> 1F和室ホール<br>14:00               | ワークショップ「そもそも、空き家問題とは?まちづくりについて」<br>担当MC すまい研/才本代表、タガヤス協議会/小沢代表、KDUまちづくり研究会<br>内容 大学生と一緒に、空き家とまちづくりについて基本的なことを考える。                           |

## 2F



### 2F広間

築100年の「明石旧船町の家」。そんな古民家の利活用を神戸芸術工科大学  
環境デザイン学科の3チームがそれぞれ企画展示。どのチームのアイデアが  
良かったか、ぜひみなさんの声を聞かせてください。また神戸芸術工科大学の  
写真サークルから有志で作品集とポストカードの販売/展示を行います。企画  
展示、写真販売/展示はどちらも5日間終日実施しますのでご覧ください。



▲企画展示、写真販売の他、蔵などから出てきた貴重な資料も展示。

### Pick Up Event

### 丸谷市長・辰巳議員と考える 空き家問題とまちづくり



文化祭最終日11/26(日)開催の  
ワークショップ「そもそも、空き家  
問題とは?まちづくりについて」  
に明石市長・丸谷聡子氏と  
明石市議会議員の辰巳浩司氏  
にお越しいただきます。  
大学生から建築士、明石市長に  
至るまで、みんなでこの問題に  
ついて考えるイベントです。  
みなさま奮ってご参加ください!!

※イベントの内容は予告なく変更する場合がございます。

Presented by Sumaiken & KDU

街、明石。  
変えたこの町も、  
ばれていた――。

、過去から現在に  
続いている家がある。

町の家」。

として富を築いた  
たこの邸宅は、第二次  
も奇跡的に焼け落ちず、  
姿を保ち続けている。

和。時代を繋ぐ架け橋のような邸宅には、  
に言い表すことができない歴史が詰まっている。

# 100年が織り成す コントラスト

後年に安藤氏が引き取り数十年。現在は空き家と  
共に空き家(地域資源)を再生し、まちを活性化させる  
人 すまいの未来研究機構」が明石旧船町の家の  
をはじめとした関西の大学生、不動産屋、建築士、  
と連携を計り、全く新しい活用方法を模索している。



## 利用案内

### 開館時間

10:00～16:00

※開館時間に変更になることがあります。

### 開催日

2023年11月18日(土)  
11月19日(日)  
11月23日(木・祝)  
11月25日(土)  
11月26日(日)

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金    | 土  |
|----|----|----|----|----|------|----|
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17   | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24   | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 12/1 |    |

### 入場料

施設内イベント等の参加費含め、全額無料

※漁師飯に関しては550円(税込)

### アクセス

〒673-0893 兵庫県明石市材木町6-21

### 交通のご案内

- JR「明石駅」南口から徒歩10分
- 神姫バス「明石本町」バス停から徒歩3分

(当施設には駐車場はありませんので、車での来館はご遠慮ください。)



### お問い合わせ

すまいの未来研究機構

〒651-2113 兵庫県神戸市西区伊川谷町有瀬1456-3

Mail info@sumaiken.jp

Tel 078-974-1737

H P https://www.sumaiken.jp/index.html



### その他

- 施設への入場、及びイベント参加は予約不要です。
- 当資料の内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- この事業は文化庁の地域文化財総合活用推進事業の補助事業です。
- この事業は明石市文化財保存活用地域計画に基づく事業です。
- この事業は国土交通省の令和5年度空き家対策モデル事業の採択事業です。

### 主催等詳細

主催 一般社団法人 すまいの未来研究機構  
神戸芸術工科大学 KDU まちづくり研究会  
共催 明石文化財活用推進実行委員会  
後援 明石市

明石旧船町の家 文化祭

## 明石 旧船町の家

House in Akashi Old Furumachi.

海と共に発展を遂げた  
現在は材木町と名を  
かつては「船町」と呼  
そんな旧船町において  
至るまで存在感を放ち  
それがここ「明石旧船  
1923年に当時資産家  
平野氏により建築され  
世界大戦による空襲で  
100年後の現在もその

過去と現在、大正と令  
ただ「古民家」と一括

## 大正と令和。築

## 明石 旧船町の家 文化祭

2023.11 10:00-16:00

18|sat 19|sun  
23|thu 25|sat 26|sun

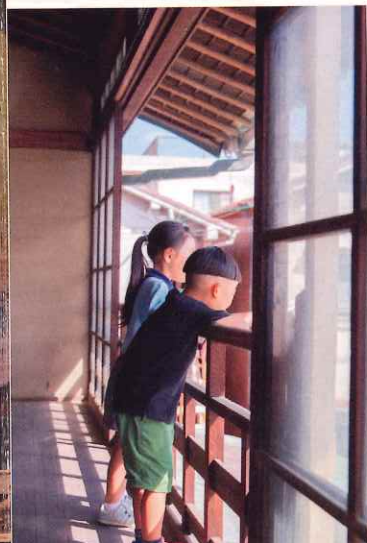
主催  
一般社団法人 すまいの未来研究機構  
神戸芸術工科大学 KDU まちづくり研究会

共催  
明石文化財活用推進実行委員会

後援  
明石市

### 古民家再生プロジェクト

100年前に平野氏が建てた邸宅を  
なっている。その折り、地域の人々と  
ことを目的とした団体「一般社団法人  
再生に着手。神戸芸術工科大学  
ジャーナリストなど、多種多様な人々



# 地域文化財総合活用推進事業 (地域伝統行事・民俗芸能等継承振興事業)

令和5年度予算額  
(前年度予算額)

421百万円  
421百万円



令和4年度第2次補正予算額

1,500百万円

## 背景・課題

- ・地域の伝統行事・民俗芸能等については、地域に資するものとして、経済面で大きな効果をもたらす役割が期待されている。
- ・一方、過疎化や少子高齢化等の社会状況を背景として、伝統行事・民俗芸能等の担い手が減少し、行事等の継承が困難となっている。

## 事業内容

経済効果に資する取組等を促し、地域の伝統行事・民俗芸能等の継承及び振興を図ることにより、地域経済を活性化し、地域振興を推進

(件数・単価) 約100件×約400万円  
(事業開始年度) 令和3年度

### 地方公共団体

域内の事業をとりまとめた、計画的な取組を実施

### 補助事業者

文化遺産の保護団体等で構成される実行委員会

### 補助対象事業

- 用具等整備  
(山車や衣装等の修理、新調等を行う事業)
- 後継者養成  
(保存会会員等を対象とした技術練習等の事業)
- 記録作成・情報整備  
(記録の作成・発信や映像のデジタル化やライブ配信等を行う事業) 等



### 事業体制



### アウトプット(活動目標)

用具等整備、後継者養成、  
記録作成・情報整備 約100事業

### アウトカム(成果目標)

地域の文化遺産を核としたコミュニティの活性化

### インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

地域活性化を推進するとともに、地域社会の連携が強化され、誰もが繋がりあえる地域づくりや絆の強い社会を実現

# 地域文化財総合活用推進事業 (地域のシンボル整備等)

令和5年度予算額  
(前年度予算額)

48百万円  
48百万円



## 背景・課題

地域社会総がかりで文化財の保存・活用の取組をより促進させるため、平成30年の文化財保護法の改正により文化財保存活用地域計画制度を創設した。本事業では文化財保存活用地域計画等を作成している市区町村に対し、地域の文化財を積極的に活用する取組を支援するものである。

## 事業内容

文化財保存活用地域計画(歴史文化基本構想を含む。以下「地域計画等」という。)に基づき、地域の核(シンボル)となっている国登録文化財を戦略的に活用するための機能維持や、保存・活用を行う団体の取組等を支援する。それにより、地域における文化財の保存・活用の取組を促進させる。

- 補助事業者: 地域計画等を作成している市区町村
- 補助会の額: 補助対象経費の50%
- 補助対象事業: 地域計画等に基づき市区町村が行う次の事業(市区町村が補助または自ら行う事業への補助)
  - ①国登録文化財の機能維持
  - ②文化財の保存・活用を行う団体への取組支援
- 事業開始年度: 令和3年度

**国登録文化財の機能維持の事例(R3年度 石川県加賀市)**  
「深田久弥 山の文化館」として活用されている国登録有形文化財「旧山根織物会社」の機能維持のため、瓦の破損・ずれや雨漏りが生じていた屋根の改修工事を実施。



### アウトプット(活動目標)

- 整備した国登録文化財の数

| 令和3年 | 令和4年 | 令和5年(予定) |
|------|------|----------|
| 1    | 3    | 4        |

- 支援した文化財保存・活用団体の件数

| 令和3年 | 令和4年 | 令和5年(予定) |
|------|------|----------|
| 3    | 5    | 4        |

### アウトカム(成果目標)

初期(令和5年度)  
整備した国登録文化財が一般公開されている割合。  
(達成度65%)

中期(令和8年度)  
整備した国登録文化財が一般公開されている割合。  
(達成度80%)

長期(令和13年度)  
整備した国登録文化財が一般公開されている割合。  
(達成度100%)

### インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

国登録文化財の機能維持や文化財の保存・活用を行う団体への取組支援を通じて、積極的な地域の文化財の保存・活用の取組を促進する。それにより、地域の人々が主体となって文化財の総合的な活用の推進等を図ることで地域の活性化に資することを目指す。



中崎遊園地 ラヂオ塔



魚住城跡



光触寺



高丘古窯跡群



太山寺道 道標



大蔵谷本陣・脇本陣



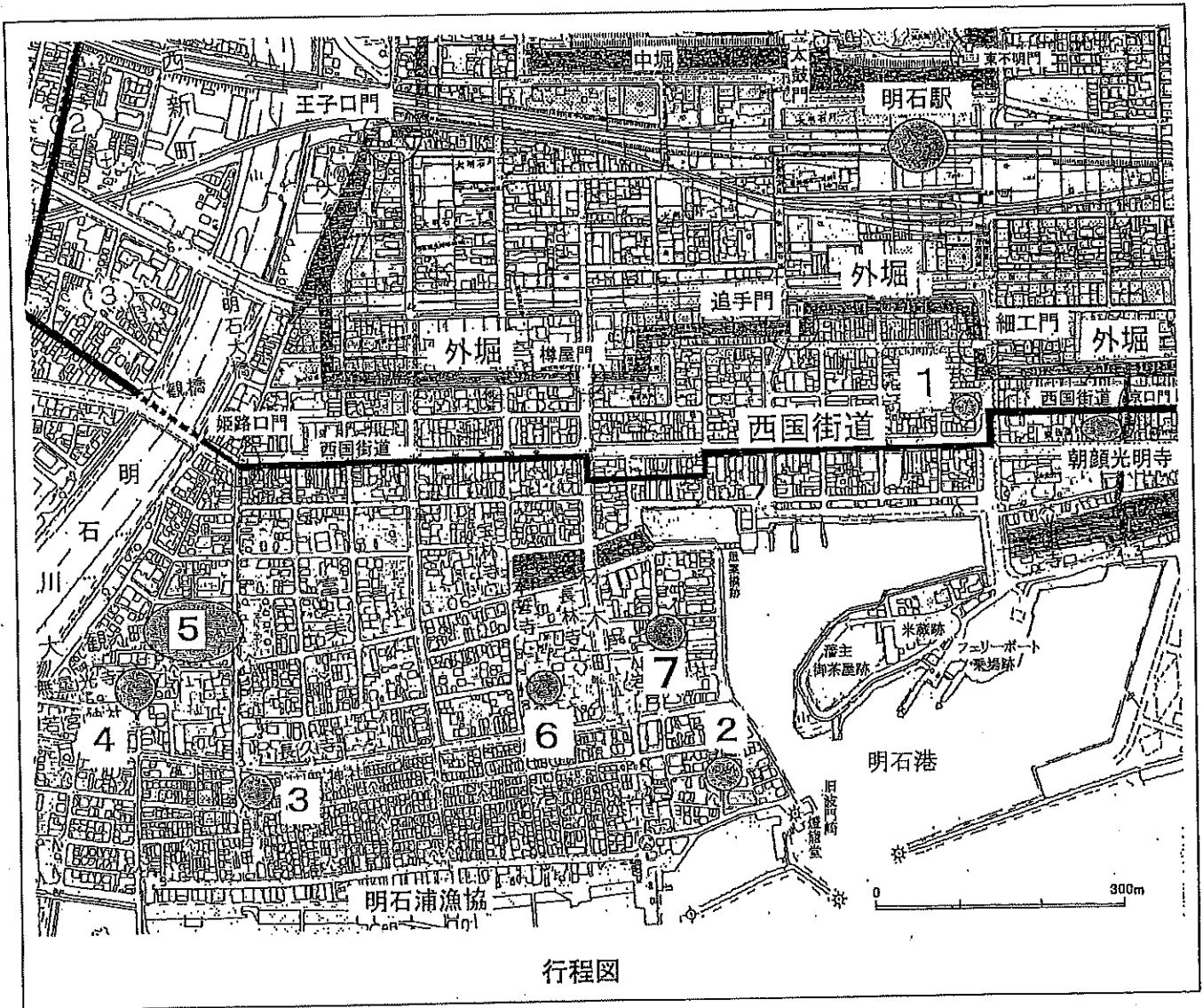
長楽寺

2023年11月18日(土) 9:30~12:30

## あかし歴史のまち「文化財ウォーク」

明石浦漁協周辺と源氏物語ゆかりの地を巡る

明石市文化・スポーツ室 歴史文化財係



### < 行程表 >

【 集合 】 明石駅 9:30

【 1 】 明石市道路元標 9:40 (中里氏)

【 2 】 築山 10:00 (中里氏)

稲荷大明神 明石浦漁協同組合 (金井氏)

【 3 】 伊弉冊神社 10:30 (金井氏)

【 4 】 無量光寺 薦の細道 10:40 (中里氏)

【 5 】 善楽寺 10:55 (吉川氏)

平清盛五輪塔 明石入道碑

円珠院庭園 11:00 (吉川氏)

【 6 】 浄行寺 11:20 (稲原)

【 7 】 旧船町の家 11:30 (義根)

【 解散 】

解説者 観光協会・ぶらり子午線観光ガイド 中里氏      ヘリテージ明石 吉川氏、田中氏

生船研究会 金井氏

あかし市民図書館 宮本氏

歴史文化財係

## この「明石旧船町の家」の歴史

はじめに

### I 大正時代末期の「明石旧船町の家」

蔵の棟札 大正11年8月5日 平野英吉

母屋の棟札 大正11年8月5日 大工棟梁 魚住[ ] 住宅 平野[ ]

→所有者 平野英吉

#### ①平野林蔵

明治25年(1892) 船町で米穀商(『商工名鑑』明治25年)

明治28年(1895)10月31日 明石郡明石町戎町に明石貯蓄銀行を設立。資本金 60000 円(1)

#### ②平野英吉

明治13年(1880)11月生まれ(2)。

大正6年(1917)から同7年の間に家督相続。明石貯蓄銀行の代表者となる(3)。商工社『日本全国商工人名録第七版』(大正8年)の「米穀商」欄に、「平野英吉」とあり、米穀商も相続したと思われる。

大正9年(1920)5月20日、高級電気絶縁物加工品、配線器具各種、ラジオ部分品、ランプスタンドの製造販売をする株式会社東洋電機具製作所を船町に設立。資本金 25 万円。横文字表記は“TOYO LITE”。取締役は平野英吉、平野養治、水田六三郎(4)。

大正11年(1922)、「明石旧船町の家」を建てる。

大正12年(1923)、明石貯蓄銀行を明石市樽屋町に移転、明石商工銀行と改称。資本金 50 万円(設立/明治28年10月31日)(5)

昭和3年(1928)、『人事興信録』(名古屋大学法学研究科)には「明石商工銀行(株)取締役」、「大正五年家督を相続す 現に明石商工銀行取締役たり 曩(さきに)岸本銀行監査役に就任せり」と記載される。

#### 〈ラジオ〉

NHKは大正14年からラジオ放送を開始。

当時のラジオの多くは、真空管やスピーカー、トランスなどの部品を組み立てて作る「組み立てラジオ」で、現在のような完成品はまれだった。

#### 〈電燈器具〉

明治43年頃、東京電気が米国GE社から部品を購入して真鍮ソケットの組立販売開始。

昭和5年頃、神保電器や東京電気、松下電器、神戸電器などがフェノール樹脂製のソケットやレ

セップ、プラグなどの製造を開始。この当時の絶縁材料は耐熱性が低い練り物または磁器だったが、フェノール樹脂はこの欠点を解決、国産化を促進する。

#### 〈電器事業の普及啓蒙活動〉

大正7年(1918)、日本電灯協会は電灯事業の発展を図る目的で、上野忍池畔で電気博覧会開催。

大正13年(1924)、大阪で家庭電気普及会が設立され、翌14年には電気講習会が電気関係業者の普及啓蒙のために開催された。電化の必要性は、経済問題、燃料問題(薪や石炭の値上がり)と資源保護)と保健衛生問題(生活改善)を解決、の側面から説かれている。

大正15年(1926)、社団法人電気協会が大阪で電気大博覧会を開催。3月20日より73日間行われ、万国博覧会並みの延べ290万人が見学した。

このほか、電気協会は博物館を利用して、家庭電化や生活改善の催しものを実施。(6)

#### 電器具

大正七年四月船町平野英吉氏初めて電燈用ソケットを整す。大正九年これを株式組織となし、製品につき大いに工夫研究し、東洋ライトと称し、石灰酸、ホルマリン、不質繊維等混合より製する高級なる品を製するに至る。製品は電燈ソケット、モーター、扇風機等各種電燈用器具、ラヂオ部分品、家庭用品等を製するに至る。

大正十三年橋本電気は五分一町に業を開き、専らラヂオ部分品を製し、十五年には東王子に大工場を建設。ラヂオ部分品製作所としては本邦有数工場なり。最近他の電氣器具も併せ製す。昭和四年八月日本電氣製造株式会社明石分工場となる。明石の二大工場に於ける年生産額は六十万円を突破し、東洋有数の生産地なり。

(野田猪左雄『明石郷土史』大観尋常高等小学校、昭和四年)

#### 【株式会社東洋電機具製作所】

大正9年(1920)5月20日設立。

昭和25年(1950)、社名を「東洋ライト株式会社」に変更。戦時中は軍需工場として無線部品などを成形、戦後は社員200人を擁し、高級ボタンの成形を行い、東南アジア各国へ輸出していた。昭和30年代からは子供用玩具等の製造を開始、昭和45年頃よりウレタンによるシューズのソール成形を実施、エンブラ関係の成形に特化して現在に至る(7)。

昭和43年の代表者は船橋正。所在地は材木町6番17号。プラスチック釦、一般成型品及び金型を製造(8)。

昭和49年(1974)『ゼンリンの住宅地図 第1部』の船町周辺地図に東洋ライト株式会社はなく、跡地は整備され南北道が付き、住宅が建ち並ぶ。

#### 【注】

(1)大蔵省監察局編纂『第五回 銀行総覧』明治31年8月刊行、大蔵大臣官房銀行編纂『第二十回 銀行総覧』濱田活版所、大正2年8月刊行。

(2)名古屋大学法学研究科「人事興信録」。

- (3)大蔵省銀行局編纂『第廿五回 銀行総覧 全』東京製本合資会社、大正7年9月。
- (4)栄原琢『明石商工名鑑』明石商工会議所、昭和4年。栄原琢『明石商工名鑑』明石商工会議所、昭和9年。
- 水田六三郎は、株式会社東洋電機具製作所（船町104、大正9年5月）、統合元山石炭株式会社（船町3、大正10年2月）、株式会社水田商店（船町49、大正11年5月）の代表者として明石商工会議所 編『第1回(昭和6年版) 明石商工会議所統計』（明石商工会議所、昭和7年）に記載される。
- (5)大蔵省銀行局編纂『第三十回 銀行総覧』
- (6)前島正裕「電力技術の発達から見た我国の家庭電化に関する一考察」国立科学博物館 Bulletin of the National Science Museum. Series E, Physical sciences & engineering 16:1993
- (7) 西日本プラスチック製品工業協会「会員様企業ご訪問：Vol.79 東洋電機株式会社（兵庫支部）2006年 [ct.nishipla.or.jp/site/pdf/83.t\\_kigyoshokai/79.pdf](http://ct.nishipla.or.jp/site/pdf/83.t_kigyoshokai/79.pdf)」
- (8) 明石市・明石市商工会議所『明石商工名鑑（昭和43年版）』昭和43年3月。

## 2 昭和10年代の「明石旧船町の家」

平野家が「明石旧船町の家」と「東洋ライト株式会社」を手放した時期は不明だが、手放し先は異なっていたようである。

昭和10年代に小学生だった子どもが書いた平面図と現在の間取りは、若干異なっている。また、屋敷の大きさは「縦 二十間/横6間」、形は「矩形 百二十坪」、家は「お庭を囲んだやうにして百坪」、「家の周り五十二間」、風通しや日光をよく受けるために「ガラスまど、ガラス天井」の工夫をしていると記される。

昭和15年の内務省訓令により町内会の設置が義務付けられると、「明石旧船町の家」は町内会長の家としての役割を担うようになる。

→展示中の「回覧板が語る船町町内会 ―昭和17年の配給物資を中心に―」をご覧ください。

改正

令和5年3月31日制定

明石市文化財保護事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、明石市内に存する文化財の改修、修繕、管理その他文化財の保護に関する事業に対し補助金を交付することについて、必要な事項を定めるものとする。

(補助対象事業)

第2条 この要綱による補助金（以下「補助金」という。）の交付の対象となる事業は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災、公開活用事業費国庫補助要項（昭和54年5月1日文化庁長官裁定。以下「国要項」という。）第3項第1号ア及び同項第2号アに規定する事業
- (2) 兵庫県教育委員会補助金交付要綱（以下「県要綱」という。）別表第1に規定する県指定文化財修理防災施設等事業及び県登録文化財修理防災施設等事業
- (3) 別表の左欄に掲げる指定文化財（明石市文化財保護条例（昭和41年条例第30号）第3条第1項に規定する指定文化財をいう。次項第3号において同じ。）の区分に応じ、同表の中欄に定める事業
- (4) 次のアからエまでに掲げる事業であって、当該事業に係る第4条第4号に規定する経費が500,000円以上のもの
  - ア 歴史文化遺産の調査及び研究
  - イ 歴史文化遺産の保存に係る支援
  - ウ 歴史文化遺産についての普及啓発及び情報発信
  - エ アからウまでに掲げる事業を担う人材の育成

2 前項第4号の「歴史文化遺産」とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 文化財保護法（昭和25年法律第214号）の規定による指定又は登録を受けた文化財
- (2) 兵庫県文化財保護条例（昭和39年兵庫県条例第58号）の規定による指定又は登録を受けた文化財
- (3) 指定文化財
- (4) 明石市文化財保存活用地域計画の参考資料1未指定の文化財一覧に掲げられた文化財

(補助対象者)

第3条 補助金の交付の対象となるものは、次の各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定めるものとする。

- (1) 前条第1項第1号に掲げる事業 国要項に規定する補助金の交付の決定又は内示を受けたもの
- (2) 前条第1項第2号に掲げる事業 県要綱に規定する補助金の交付の決定又は内示を受けたもの
- (3) 前条第1項第3号に掲げる事業 明石市文化財保護条例第8条第1項に規定する所有者等
- (4) 前条第1項第4号に掲げる事業 当該事業を行うボランティア団体その他の民間団体（次のアからエまでのいずれにも該当するものに限る。）であって、市長が補助金の交付の対象として適切と認めるもの
  - ア 政治活動を主たる目的とした団体でないこと。
  - イ 特定非営利活動促進法（平成10年法律第7号）その他の法令の規定に基づく団体（ウにおいて「法定団体」という。）にあっては、当該法令の規定で定められた報告等を所管庁等に適切に行っていること。
  - ウ 法定団体以外の団体にあっては、当該事業を行う者が主たる構成員であり、代表者の定めがあり、及び組織及び運営について規約の定めがあるもの。
  - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員と密接な関係を有していないこと。

(補助対象経費)

第4条 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）は、次の各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める経費とする。

- (1) 第2条第1項第1号に掲げる事業 国要項第4項に規定する経費
- (2) 第2条第1項第2号に掲げる事業 県要綱別表第1に規定する補助事業の対象となる経費
- (3) 第2条第1項第3号に掲げる事業 別表の中欄に掲げる事業の区分に応じ、同表の右欄に定める経費
- (4) 第2条第1項第4号に掲げる事業 当該事業の実施に必要な経費であって、文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）国庫補助要項（平成31年4月1日文化庁長官決定。第5条第4号において「国補助要項」という。）別表の目の欄に掲げるもの（市長が補助金の交付の対象として適切と認めるものに限る。）

(補助金の額)

第5条 補助金の額は、次の各号に掲げる事業の区分に応じ、当該各号に定める額（その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）とする。

（1） 第2条第1項第1号に掲げる事業 補助対象経費の額（国又は兵庫県による補助がある場合にあつては、補助対象経費の額から当該補助額を控除した額）に2分の1を乗じて得た額

（2） 第2条第1項第2号に掲げる事業 県要綱に基づき兵庫県が交付した補助金の額と同額

（3） 第2条第1項第3号に掲げる事業 次のア又はイに掲げる事業の区分に応じ、当該ア又はイに定める額

ア 別表の中欄に掲げる伝承者の養成、資料の収集・整理・記録作成（以下「伝承者養成等事業」という。） 年額4万円又は伝承者養成等事業に係る補助対象経費の額のいずれか少ない額。ただし、市長が特に必要と認める場合はこの限りでない。

イ アに掲げる事業以外の事業 補助対象経費の額に2分の1を乗じて得た額

（4） 第2条第1項第4号に掲げる事業 国補助要項に基づき国が市に対して交付する補助金の額に2を乗じて得た額

（交付申請）

第6条 補助金の交付を受けようとするものは、市長が別に定める申請書に、補助事業収支予算書その他市長が必要と認める書類を添えて市長に提出しなければならない。

（交付決定）

第7条 市長は、前条の規定による申請を受けたときは、その内容を審査し、補助金の交付の可否を決定し、市長が別に定める通知書により、当該申請を行ったものに通知するものとする。

2 市長は、補助金の交付の決定（以下「交付決定」という。）を行う場合において、必要な条件を付することができる。

（変更申請）

第8条 交付決定を受けたもの（以下「補助決定者」という。）は、交付決定に係る申請の内容に変更が生じた場合又は交付決定を受けた事業を中止しようとする場合は、市長が別に定める申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請を受けたときは、その内容を審査し、変更又は中止の可否を決定し、市長が別に定める通知書により、当該申請を行ったものに通知するものとする。

（完了の報告）

第9条 補助決定者は、市長が別に定める日までに、市長が別に定める報告書に、補助事業収支決算書その他市長が必要と認める書類を添えて市長に報告しなければならない。

（補助金の額の確定及び交付）

第10条 市長は、前条の規定による報告書の提出があつたときは、これを審査し、交付決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認めるときは、交付すべき補助金の額を確定し、市長が別に定める通知書により補助決定者に通知するものとする。

2 前項の通知を受けた補助決定者は、速やかに市長が別に定める請求書により、市長に補助金を請求するものとする。

3 市長は、前項の請求を受けたときは、当該請求を行った補助決定者に補助金を交付するものとする。

（補助金の交付決定の取消し）

第11条 市長は、補助決定者が次の各号のいずれかに該当するときは、交付決定の全部又は一部を取り消すものとする。

（1） 偽りその他の不正行為により交付決定を受けたとき。

（2） 補助金の交付決定の内容若しくはこれに付した条件又はこの要綱に違反したとき。

（補助金の返還）

第12条 市長は、前条の規定により交付決定を取り消した場合において、当該取消しに係る補助金が既に交付されているときは、期限を定めてその返還を命じることができる。

（補則）

第13条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

（明石市指定文化財保護事業補助金交付要綱の廃止）

2 明石市指定文化財保護事業補助金交付要綱（平成25年6月21日制定）は、廃止する。

附 則（令和5年3月31日制定）

(施行期日)

1 この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の要綱第2条第1項(第4号に係る部分に限る。)の規定は、この要綱の施行の日以後に実施された同号に規定する事業について適用する。

別表(第2条、第4条、第5条関係)

|              |                                                                   |                                                |
|--------------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 有形文化財(建築物)   | 保存のために必要な修理工事、災害復旧工事                                              | 修理工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 防災施設(警報設備、消火設備、避雷設備、防盜防犯設備、火除地設定、消防道路、保護柵、覆屋等)設置工事、鳥虫害防除工事、災害復旧工事 | 防災工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 防災施設等保守点検                                                         | 防災施設保守点検等に要する経費                                |
|              |                                                                   |                                                |
| 有形文化財(美術工芸等) | 保存のために必要な修理工事、災害復旧工事                                              | 修理工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 防災施設(警報設備、消火設備、避雷設備、防盜防犯設備等)設置工事、鳥虫害防除工事、災害復旧工事                   | 防災工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 耐火構造である収蔵施設設置工事(増改築を含む。)、温湿度調整設備設置工事                              | 施設・設備設置工事経費、附帯工事経費                             |
|              | 防災施設等保守点検                                                         | 防災施設保守点検等に要する経費                                |
| 無形文化財        | 伝承者の養成、資料の収集・整理・記録作成                                              | 伝承者の養成のための講習会等開催経費、資料収集整理経費、記録作成経費、事務経費        |
| 民俗文化財        | 保存のために必要な修理工事、災害復旧工事                                              | 修理工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 防災施設(警報設備、消火設備、避雷設備、防盜防犯設備等)設置工事、鳥虫害防除工事、災害復旧工事                   | 防災工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 伝承者の養成、資料の収集・整理・記録作成                                              | 伝承者の養成のための講習会等開催経費、資料収集整理経費、記録作成経費、事務経費        |
|              | 耐火構造である収蔵施設設置工事(増改築を含む。)、温湿度調整設備設置工事                              | 施設、設備設置工事経費、附帯工事経費、設計料、監理料、事務経費                |
|              | 防災施設等保守点検                                                         | 防災施設保守点検等に要する経費                                |
| 記念物          | 保存のために必要な復旧工事、環境整備工事、管理に必要な施設の設置工事、災害復旧工事                         | 復旧・整備工事経費、施設設置工事経費、その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費       |
|              | 防災施設(警報設備、消火設備、避雷設備等)設置工事、災害復旧工事                                  | 防災工事経費その他の工事経費、設計料、監理料、事務経費                    |
|              | 保護増殖施設の設置工事、病虫害駆除、施肥、樹勢回復等                                        | 保護増殖施設工事経費、保護増殖設備経費、病虫害駆除経費、施肥等経費、設計料、監理料、事務経費 |
|              | 防災施設等保守点検                                                         | 防災施設保守点検等に要する経費                                |